

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	北海道テレコム懇談会	代表者名	山本 強(北海道大学 名誉教授)		
担当者部署	事務局 ((株)道銀地域総合研究所)	連絡先電話番号	011-233-3562		
担当者役職	事務局長(地域戦略研究部長)	担当者氏名	清水 友康	連絡先E-mail	
住所	060-8676 北海道札幌市中央区大通西4丁目1番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	総務省 北海道総合通信局	連絡先部署	情報通信部情報通信振興課		
担当者氏名	奥野 典子	連絡先電話番号	011-709-2311(内線 4717)	連絡先E-mail	

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	セミナーのパネルディスカッション実施にあたって、パネリスト内で方向性が確認され、また具体的な効果や逆にマイナスにならないに留意すべき点についてのアドバイスを得られた。
アドバイザーへの要望事項	特にございません

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年11月14日	事前打合せ(オンライン)	有	令和5年11月15日	1090
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和5年11月15日	事前打合せ(オンライン)	10時00分	11時00分	
				活動時間(分)	60

  

3-2. 派遣場所	会場名	最寄駅	
	オンライン	オンライン	
所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
------	---------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	事務局職員、自治体職員、企業	9人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	効果的なセミナーとなるようにパネルディスカッションの在り方と地域社会DXの課題とDX人材について、セミナー参加者(視聴者)にどのように提起していくべきか。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	セミナー当日に向けて、効果的なパネルディスカッションについて、議論内容や、時間配分など、パネリストとの事前の認識統一とする	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	具体的な議論内容、時間配分、ディスカッションスタイル、意見集約方法など	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	DX人材という大きなテーマについて、パネリスト属性が様々であり、かつ6名もいることから個別の発言には時間的な制約があることをふまえつつも議論が深まるように、また会場の参加者、オンライン視聴者も巻き込んだ形になるようにslidoを活用し、意見集約するなど、効果を高められるようなアドバイスを得た。ただし、事前に意見集約しすぎると長文の内容が書き込まれるなどの懸念もあることを指摘いただいた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打合せのためアンケートは実施していない	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

日時:2023年11月15日 10:00~11:00

出席者:地域情報化アドバイザー 山形巧哉氏、総務省地域通信振興課 課長補佐 日上俊祐氏、  
上士幌町 山崎大地氏、今金町 伊藤翔氏、東日本電信電話(株) 寺林智弥氏、沖電気工業(株)宮崎諒  
氏、  
(株)フォレストシー 藤本晶史氏  
北海道テレコム懇談会庶務 奥野、北島、加藤

前回の打合せを踏まえ、ディスカッションの内容、時間配分、壇上の配置(円卓の活用)、slidoを活用して会場からも  
意見を集約する等、参加者を巻き込んだスタイルとすることとした。  
テーマについては、ネクストリーダーズのディスカッションではあるが、奇をてらわず、エッジの効いたテーマにはせず  
現状の問題点を丁寧に拾い問題提起し、DX推進のためのDX人材像が浮かび上がるような議論となるような方向性  
とした。  
ただし、高校の必修科目となる「情報I」についてはファシリテーターから10分間程度、聴講者に向けて情報を  
インプットし、4~5年先に「情報」を既習済の世代がでることを前提としてもらうこととした。